

# さかいまち 議会だより

No. 201

令和4年  
8月1日発行



## 境町とホノルル市の姉妹都市協定締結!! 友好関係の深化に向けアロハシャツで議会



### 目次

- ◆第3回臨時会議決事項及び第2回定例会議決事項 … P.2～P.4
- ◆一般質問 …………… P.4～P.7
- ◆議会活動…………… P.8



# 令和4年第3回臨時会

5月16日（1日間の会期）

## 補正予算関係

会計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計（議案第31号）	133億7,500万円	1億5,570万円	135億3,070万円

## 各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (境町税条例等の一部改正について)	令和4年5月16日	即日 原案承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (境町国民健康保険税条例の一部改正について)	令和4年5月16日	即日 原案承認
同意第15号	境町固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	令和4年5月16日	即日 原案同意

# 令和4年第2回定例会

6月13日～6月16日（4日間の会期）

全議案・原案可決

令和4年第2回定例会は、6月13日から6月16日までの4日間の会期で開催いたしました。

今定例会においては、一般質問の一人当たりの持ち時間を通常の最大60分で実施し、議場につきましては、引き続き議員席の間隔を広げて着席し、換気のため扉を開け最大限の新型コロナウイルス感染症対策を行い、本会議を開催させていただきました。

また、議会傍聴につきましても、感染予防対策の徹底をお願いしたうえで、人数を先着25名に制限させていただき、実施いたしました。

住民の皆様にはご理解ご協力を賜りまして、改めて深く感謝申し上げます。

境町と姉妹都市であるホノルル市との、更なる友好活動の推進を目的に、アロハシャツを着用し本会議を開催いたしました。ハワイではアロハシャツは正装として着用する服装であります。

また、友好の証としてホノルル市から贈られたアロハ柄のマスクも着用し、明るい雰囲気の中会議が開催されました。（表紙写真）



## 各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
報告第1号	令和3年度境町一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	—	—
報告第2号	令和3年度境町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	—	—
報告第3号	令和3年度境町住宅事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	—	—
報告第4号	令和3年度境町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	—	—
報告第5号	令和3年度境町水道事業会計予算繰越計算書について	—	—
議案第32号	境町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例案について	令和4年6月16日	原案可決
議案第33号	土地改良事業の計画について	令和4年6月16日	原案可決
議案第41号	工事請負契約の締結について	令和4年6月13日	即日 原案可決
議案第42号	工事請負契約の締結について	令和4年6月13日	即日 原案可決
議案第43号	工事請負契約の締結について	令和4年6月13日	即日 原案可決
議案第44号	工事請負契約の締結について	令和4年6月13日	即日 原案可決
議案第49号	事業契約の締結について	令和4年6月16日	即日 原案可決

## 水道事業会計補正予算

境町水道事業（議案第48号）	予算現額	補正額	補正後の金額
収益的収入	6億7,882万円	150万円	6億8,032万円
収益的支出	6億7,324万円	150万円	6億7,474万円

## 補正予算関係

## 令和4年度境町各種会計補正予算

会計	予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計(議案第34号)	135億3,070万円	9億7,232万円	145億302万円	
一般会計(議案第45号)	145億302万円	8,189万円	145億8,491万円	
特別会計	住宅事業(議案第35号)については、債務負担行為の補正となっております。			
	国民健康保険事業(議案第36号)	27億4,850万円	△211万円	27億4,639万円
	後期高齢者医療事業(議案第37号)	5億2,860万円	824万円	5億3,684万円
	介護保険事業(議案第38号)	19億4,350万円	242万円	19億4,592万円
	公共下水道事業(議案第39号)	7億8,600万円	△575万円	7億8,025万円
	公共下水道事業(議案第46号)	7億8,025万円	75万円	7億8,100万円
	農業集落排水事業(議案第40号)	2億3,150万円	△256万円	2億2,894万円
	農業集落排水事業(議案第47号)	2億2,894万円	20万円	2億2,914万円

# 一般質問

### 1番 議席2番 染谷 直人 議員

- (1)高齢者のいきがい作り及び健康寿命を伸ばす取組について
- (2)公共施設の命名権の募集（ネーミングライツ）の導入について

### 3番 議席3番 枝 史子 議員

- (1)保育所の運営と、保育の質の向上について

### 4番 議席4番 鈴木 英明 議員

- (1)社会福祉について
- (2)学校教育について

### 2番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1)地方創生臨時交付金の活用について
- (2)ゼロカーボンシティの実現に向けた取組について
- (3)電子クーポンについて

4人の議員が登壇しました

**Q** 現在、当町が実施している高齢者のいきがい作り及び健康寿命を伸ばす取組について伺いたい。

**A** 「いつまでも元気で自分らしく生活できる町」を念頭に、健康マイレージ事業、シルバリーハビリ体操、いきいき福祉大会の無料招待等を実施した結果、医療費の抑制や当町の健康寿命の伸びが確認されており、町としてはこれからの超高齢化社会に向け、今後も引き続き「生涯健康で住み続けられる町」を目指して各種事業を展開してまいります。

(福祉部長)

高齢者のいきがい作り及び健康寿命を伸ばす取組について



議席2番

染谷 直人 議員

**Q** 当町による「いきいき福祉大会」は、高齢者のいきがい作りの一助となっているものと思うが、今後の展望について、当町の考え方を伺いたい。

**A** 「いきいき福祉大会」については、去る4月20日にいきいきクラブ連合会の創立60周年記念事業として、感染症対策を講じた上で、歌謡ショーを実施。今後の同大会の在り方に関しては、いきいきクラブ連合会の意向も踏まえつつ、どのような会を開催するか、町としては継続して開催できるように、しっかりサポート・後押しをして参りたい。

(町長・福祉部長)



### 公共施設の命名権の募集(ネーミングライツ)の導入について

**Q** 昨年、茨城県が実施したことにより、県内自治体でも導入の動きが見られる本制度について、当町の考え方を伺いたい。

**A** 1970年代に米国において、スポーツ施設の命名権を企業が買い取ったことが始まりとされ、日本でも2000年代より当手法が用いられるようになった。年間数百万円程度の収入に対する名前や看板、地図等を変更することの費用対効果が低い施設等では、他の自治体もパートナー探しに苦慮していること等を踏まえ、当町の導入については慎重に検討したい。ただし、町から営業をかけ、企業からのニーズが確認できれば、町としても公募を行い、導入に向け、対応して参りたい。

(町長・企画部長)



「干し芋カフェ HOSHIIMONO100Café」  
境町山神町歩道橋

### 議席10番

田山 文雄 議員



### 地方創生臨時交付金の活用について

**Q** 新型コロナウイルス感染症の長期化、並びにウクライナ危機

による物価高騰の影響がある中で、国からの地方創生臨時交付金の活用等が示されていますが、当町としての活用の考えを伺いたい。

**A** 当町には、約1億2百万円が配分される予定となっております、町民の皆様の日常生活に寄り添うため、大阪市が実施するような、上下水道料金や農業集落排水の基料無料化(7月、8月分)など、事業者まで含めた町民の皆さまが恩恵を受けるような施策を実施していきたい。尚、給食費の食材費の高騰による補填を町が行い値上げをしない方向で進めていきたい。

(町長・企画部長)

### ゼロカーボンシティの実現に向けた取組について

**Q** 「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明自治体」として全国で702自治体が表明、当町もその中の自治体として入っています。

当町の取り組みや今後の考えを伺いたい。

**A** 現在、町では脱炭素に配慮した取り組みとして、太陽光発電事業として学校及び公共施設の屋根等38箇所にて太陽光パネルを設置、防犯灯LED化や公用車90台中、電気自動車を2台、ハイブリット車を20台、水素自動車を1台導入して化石燃料の削減、自動運転バスの導入によりましてCO<sub>2</sub>削減を図り、町内畜産業者と契約して学校給食で回収した残飯を活用して頂き食品ロスゴミの減量化にも取り組んでいます。今後は、廃棄物と環境を考える協議会の構成自治体と連携を図るとともに、ゼロカーボンシティ検討委員会を立ち上げていきたい。

(企画部長)



中央公民館の屋上に設置されているソーラーパネル

### 電子クーポンについて

**Q** 町が実施する予定の電子クーポンについては、普及定着することによって将来的にも様々なメリットが考えられると思うが、そのための町民への周知について伺いたい。

**A** 今回実施をする電子クーポンは、今までの紙券を電子に切り替えて総額2億円を発行し、1年をかけて丁寧に町内事業者と町民にキャッシュレス化を推進していきたい。尚、この電子クーポン券で町税、上下水道料金の支払い、学校の修学旅行の積立、学習塾の月謝等にも利用ができ、特に町税についてプレミア付の電子クーポン券で納付は自治体として例のない取り組みです。今後、町民に対する周知として、クーポンの購入方法や利用方法を掲載したチラシを各戸にポストインや、YouTube等で配信し周知徹底を図っていきたい。

(秘書公室長)

### 議席3番

枝 史子 議員



### 保育所の運営と、保育の質の向上について

**Q** 町は、保育所の安全について、定期的な点検を含め、どのような対策を講じているのか。

**A** 保育施設の安全管理については、事故が発生した場合の対応等が記載されたマニュアルを整備することが国によって定められている。

これに基づき、それぞれの保育所及び認定こども園では、事故につながる可能性のある要因を発見し、事前に取り除くことや、万が一の際に速やかに対処できるよう、保育士等職員による事故防止や保育環境の改善に関する委員会

を設置し、園庭、遊具等施設の安全点検の実施および全職員での情報の共有化等、施設の実情に応じて体制を整えている。また、保育の場面が切り替わる際には、その都度人数確認を行い、安全管理についても対策を講じている。

今後も、施設内外の安全点検に努め、各保育施設との共通理解や体制づくりを図るとともに、家庭や地域等関係機関の協力のもと、安全指導を行ってまいりたい。

(町民生活部長)

**Q** 境町の保育士の配置はどのようになっているのか。また、子どもたちの安全と保育士の負担軽減という観点から、「保育士の増員」といった施策を町独自に行うことは可能か。

**A** 本町における保育士の配置については、県で定める条例に基づいて行っている。

町が独自に上乘せすることはおこなっていないが、給食の配膳等、保育の周辺業務に従事する職員や、保育業務の補助を行う短時間勤務の職員を雇用する経費の一部を助成する「保育体制強化事

業」「保育補助者雇いあげ事業」等、保育士の業務負担の軽減を図ることに特化した事業を実施している。

また、保育士の離職防止と人材確保を目的として、町独自に賃金に月額1万円を補助する「保育士確保のための給与アップ事業」については、当初は令和3年度までであったが、今年度も引き続き実施することとなった。

今後も、保育の担い手となる保育士の確保や、保育士の負担軽減を図りながら、保護者の皆さまに安心して保育所を利用していただけるよう、さらなる保育の質の向上に努めてまいります。

(町民生活部長)



#### 議席4番

鈴木 英明 議員



#### 社会福祉について

**Q** 農業分野と福祉分野の連携(農福連携)について当町の現状及び今後の取組について伺う。

**A** 当町における就労系の障害福祉サービス事業所は2か所あるが農福連携については実施されていないのが現状である。最近、当町においても民間事業者が農福連携を手掛け始めたと同っている。こうした障がい者雇用の推進や、生きがいづくりにつながる事業に対し、町としても積極的に支援していく。

(福祉部長)



#### 学校教育について

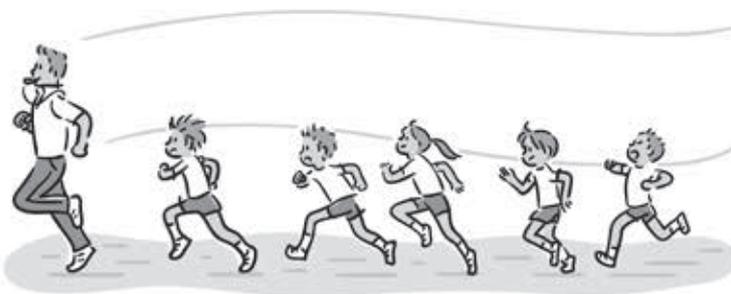
**Q** 中学校の部活動指導員配置事業の現状と部活動地域移行の今後の取組について伺う。

**A** 部活動指導員配置事業については、現在、境第一中学校に6月より1名の教員経験者を女子テニス部に配置している。今後も必要に応じて任用することにより、教員業務の改善に努めてまいります。

部活動地域移行については、国と県の動向も踏まえながら進め、指導者確保に関しては、地域おこ

し協力隊の活用や当町に関係するスポーツ団体など、専門家との連携を見据え調整していく。  
指導者にかかる経費については、部活動を希望するすべての生徒が参加できるように町で助成するなど調整していく。

(教育次長)



## 議会活動

### 議会タブレット研修会

4月22日に議会全体でタブレット研修会を行いました。

スケジュールの共有や連絡調整等を行う手段として、またデジタル化への取組の第一歩として、境町議会でも今後さらに調査研究してまいります。



ソフトバンクによるタブレット研修会を実施



### ハワイ州ノエラニ小学校・境小学校姉妹校提携協定調印式

5月12日に、ハワイ州ノエラニ小学校と境小学校の姉妹校提携協定調印式が執り行われました。将来的な交換留学やオンラインによる交流等を目的として児童同士の親交関係を深められるよう、議会といたしましても、グローバル人材育成並びに国際交流の推進に努めてまいります。



オンラインによるハワイ州ノエラニ小学校と境小学校の姉妹校提携協定調印式

### 町内視察

総務建設農政常任委員会では、定例会中の6月14日に、志鳥地内の農業生産基盤整備事業の現地視察を行いました。

この事業は、大型機械での耕作や大型車での通行が困難であるため、農作物輸送や資材の搬入等に支障を来たしている農道の整備を行うことにより、農業生産近代化・農作物流通の効率化を図るため実施するものです。

議会といたしましても、農業経営の安定に資するよう、農道整備を促進してまいります。



志鳥地内現地視察の様子

編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 枝 史子 委員 渡邊 昇

副委員長 染谷 直人 委員 青木 輝明

〒306-0495 境町391-1  
TEL.0280-81-1316 FAX.0280-87-5873  
<http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>